

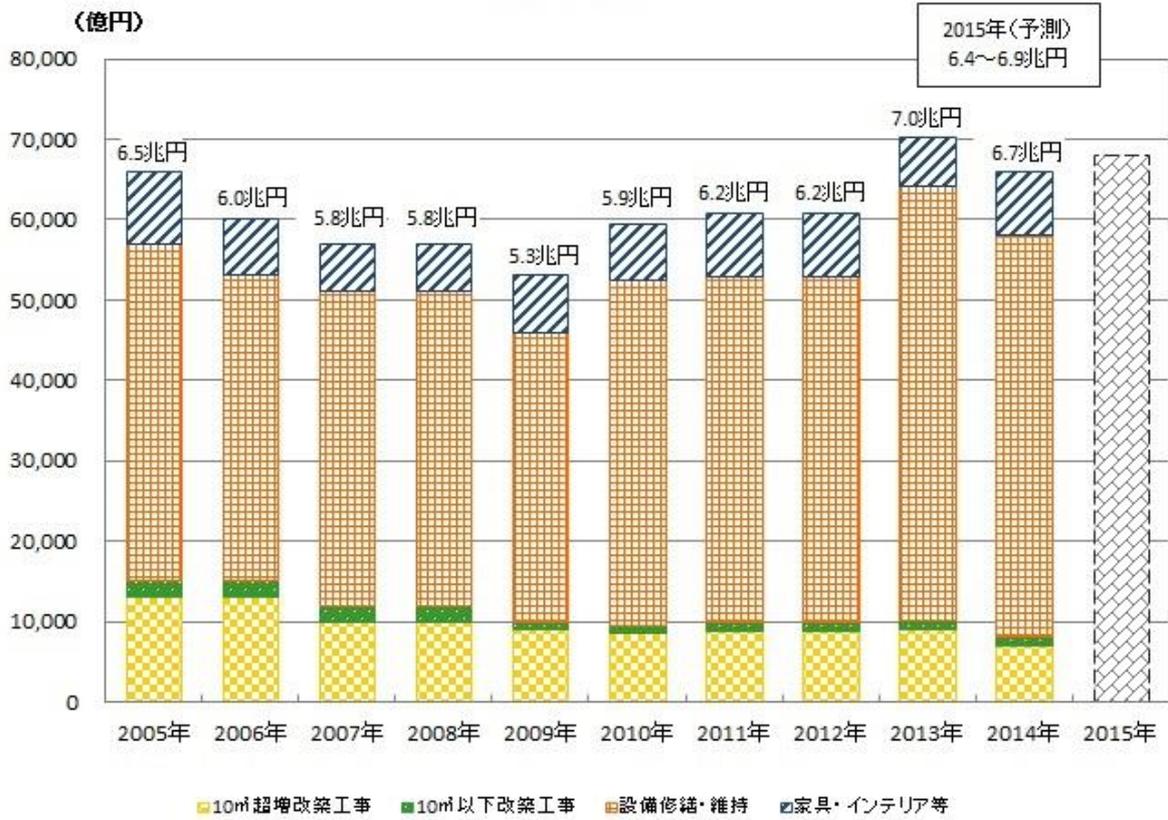
住宅リフォーム市場規模 14年は6.6兆円で4.4%減 15年は6.4兆円～6.9兆円予測

(株)矢野経済研究所は2月25日に「住宅リフォーム市場に関する調査結果～2014年第4四半期～」を発表した。調査期間は2014年10月から12月、調査方法は同社専門研究員による市場規模算出、及び文献調査による。

調査結果サマリー

- ◇ 2014年第4四半期の住宅リフォーム市場規模は前年同期比15.1%減
2014年第4四半期の住宅リフォーム市場規模は1兆7,562億円(速報値)、前年同期比15.1%減と推計する。前年同期(2013年第4四半期)は、消費増税に伴う駆け込み需要が顕在化し、四半期ベースで2兆円を超える状況であった。一方、2012年第4四半期との比較では微減にとどまっていることから、例年並みの規模であったと考える。
- ◇ 2014年の住宅リフォーム市場規模は前年比4.4%減の6.7兆円
2014年(1月～12月計)の住宅リフォーム市場規模は、6兆6,511億円(速報値)で、前年比で4.4%減と推計する。前年の2013年(1～12月計)と比較すると、「増改築に関わる費用(10㎡超及び10㎡以下の増改築工事)」は大きく落ち込んだものの、「家具・インテリア」は堅調であった。また、「設備修繕・維持」分野について、前年は大幅に拡大しているが、2014年でも5兆円台を維持し、踏み止まっている。したがって、前年の消費増税による駆け込み需要の影響を考慮しても、「設備修繕・維持」分野における需要は堅調であり、同分野の規模はむしろ拡大しているものとみられる。
- ◇ 2015年の住宅リフォーム市場規模は6.4～6.9兆円を予測
2015年は消費税の再増税が延期されたため、比較的安定的に推移するとみる。2015年におけるプラスの要因としては、2014年末に「住宅エコポイント制度」の復活が決定されたことで、リフォーム需要を喚起する効果が見込まれる一方、マイナスの要因としては消費税の反動減が2015年も継続するという懸念である。こうしたことを考慮し、2015年の住宅リフォーム市場規模は6.4～6.9兆円を予測する。

住宅リフォーム市場の市場規模推移と予測



壁装新聞(第421号)より引用